

■防災費発注者支援業務委託 3012万円

昨年度までは、避難道などの設計業務が多く、職員だけでは無理な状況だったため、ティーネットジャパンと建設技術公社の2社に委託していた。今年度は、避難道も少なくなつたので、一定整理をしていくとのこと。

■大方あかつき館等の指定管理業務委託 2763万円

NPOあかつきに委託しているもの。NPOあかつきの指定管理期間は5年間で平成28年4月1日から令和3年3月31日までとなっている

■集落活動センター備品購入費 715万円

蜷川とかきせへの備品購入で、金額的にはかきせが主で、冷蔵庫や宿泊事業関連で553万円余となっている。

●平成30年度情報センター事業

特別会計決算

歳入

使用料収入増も

繰入金も増額

■使用料及び加入金

1億101万円

テレビ放送2783万円、インターネット通信

7164万円などで、前年度比で449万円の増。

■一般会計からの繰入金

1億4793万円

前年度より893万円増。委員から、毎年の多額の繰入だが対策はとの質問があり、引き続いて加入率の向上と支出の抑制を図り、繰入金を減額させていきたい。

なお、現状、この特別会計については、前年度では普通交付税が1億432万円余、特別交付税が624万円ほどあり、実質的には4400万円ほどの繰入となっているとのこと。

歳出

前年度と同様の歳出に

■放送サービス委託料

1577万円

砂浜美術館へ自主放送の番組制作を委託。

■保守料 1869万円

情報センターの保守管理の費用。

■光ネットワーク運用保守委託 2481万円

光ネットワークや放送設備の維持、線路監視などへの委託料。

■IPS業務通信運搬費 3100万円

トランジットの接続、データ伝送に係る費用。

■町債償還元金

1億3647万円

過疎債、辺地債、旧合併特例債等により起債をしている。

産業
建設
厚生

常任委員会

ふるさと納税5億円目指す



委員長 本 哲也

とのこと。

■庁舎建設費

1億2816万円

舗装工事や旧庁舎解体工事等残っていた工事。

平成30年度で工事完了とのこと。

■災害救助費 15万円

西日本豪雨災害時、災害活動として、岡山県総社市に職員6名の滞在旅費。

■保険事業費 健康診断 1155万円

検診に来られていない人が当初計画人数より少ない結果、だった。

■社会福祉費 委託費 6170万円

その内、あつたかふれあいセンター事業への委託費4カ所3314万円。

■敬老会事業補助金 314万円

敬老会出席者で、町内在住の70歳以上の方に一人当たり1千円の補助。施設に入所されている方はそこに住民票のある方のみ対象。

■住宅管理費 修繕費 988万円

委員より、来年度は柔軟な対応を望む声があり、検討すること。

●平成30年度

一般会計決算

■ふるさと納税

ふるさと納税は平成30年度、1万8830件、2億5725万円の歳入。寄付金謝礼として7848万円、ふるさと納税歳出合計が1億3854万円。返礼品の人気は、1番から3番まで鯉たたき

本委員会に付託された17議案は審査の結果、全て原案のとおり認定、可決すべきものとなった。